

校務DX計画

1. 校務のデジタル化

保護者連絡アプリを活用した保護者への連絡や、Googleフォームを活用したアンケート調査・集計を行うなどのデジタル化を推進している。また、職員会議資料や児童生徒への配布文書をクラウド上のフォルダに保存・共有し、ペーパーレス化を進め、教職員の業務効率化・負担軽減に取り組んでいる

2. F A X ・押印の見直し

F A X 及び押印については、すでに見直しを行い、校務の効率化を図っているが、一部のやり取りでF A Xを使用していることから、F A X ・押印の原則廃止に向け、各種関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、協力を求めている。

3. 校務のロケーションフリー化に向けた調査・研究

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づくセキュリティ対策を十分に講じたうえで、ロケーションフリーで、校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備に向けた調査・研究を進める。

4. 次世代校務支援システムの導入に向けた検討

令和6年度より統合型校務支援システムを利用し、クラウド上で教務、学籍、成績などの管理を行っている。

今後、校務D X化をさらに推進するため、「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入を検討するため情報収集を進める。